

**令和 4 年度第 2 回 社会教育委員会議
議 事 要 旨**

1. 開催日時：令和 4 年 10 月 18 日（火） 14:00-15:30

開催場所：八尾市立青少年センター 3 階 集会室

出席委員：今岡委員・二宮委員・田中委員・村尾委員・角田委員・中道委員・
赤松委員・山根委員（順不同）

2. 議事案件

1 令和 4 年度第 1 回社会教育委員会議録の承認について

2 報告事項について

【生涯学習課】

①八尾市家庭教育講演会&公開座談会の開催について

②第 27 回八尾市こども会親善つな引き大会の結果報告について

③第 62 回八尾市こども会連合親善ソフトボール大会について

④令和 4 年度「少年を守る日」「家庭の日」運動強調月間について

⑤「青少年健全育成と家庭教育を考える八尾市民大会」の開催について

⑥令和 4 年第 61 回八尾美術展の開催について

⑦令和 3 年度八尾市生涯学習センター指定管理者事業報告について

【観光・文化財課】

⑧観光・文化財課関連事業（令和 4 年 10～12 月）について

【文化・スポーツ振興課】

⑨文化・スポーツ振興課事業概要（令和 4 年 10～12 月）

⑩令和 3 年度八尾市立スポーツ施設指定管理者事業報告について

【こども若者政策課】

⑪令和 4 年度八尾市はたちのつどいについて

3 その他

3. 意見交換の概要（○：委員、●：事務局）

1 令和 3 年度第 4 回社会教育委員会議録の承認について

※全委員異議なし

2 報告事項について

○こどもを取り巻く問題については、家庭だけで解決することが困難になっており、社会で子どもの居場所づくりに取り組まなければならない。行政の役割として、着実に支援体制を整えていくべきである。

●生涯学習課においては、「放課後子ども教室事業」を実施しており、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

●こども食堂などの食事支援や学習支援にも取り組んでおり、「子どもの居場所づくり事業」として、地域で子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体に対し

て補助金を交付している(令和4年度は10団体)。引き続き支援を続けてまいりたい。

○子育ては社会で守っていかねばならないし、そのためにも地域の力が大事である。

○不登校児童・生徒に対する実状を把握して、対策に取り組むことが重要と考える。

○長年、地域の青少年指導員をしており、こども会活動に携わってきており、ラジオ体操など小さなことからでも地域の居場所づくり活動に取り組んでいきたい。

○学校支援ボランティアとして活動している経験からも、子どもの居場所づくりにおいて、地域の人材が頼りとなることも多く、地域で守っていかねばならない。

○八尾市では、各小学校区に福祉委員会があるが、福祉委員会の活動が地域にも貢献している。

●学校現場においても、「開かれた学校」を目指しており、地域との連携を取れる体制を進めてまいりたい。

○指定管理者の事業報告について、生涯学習センターについては、コロナ禍においても令和3年度の収支で黒字が出ており、その要因は何か。また、総合体育館ほかスポーツ施設においては、大幅な赤字となっているが、指定管理者とのリスク分担がどうなっているのか。

●生涯学習センターにおいては、コロナ禍により施設利用料など収入面では減収する部分もあったが、指定管理者の企業努力により支出面を抑えたことによる。

●スポーツ施設においては、コロナ禍により休館や開館時間の変更などにより施設利用が減少したことに伴い、施設利用料が大幅な減少になったことが、赤字となった要因である。市からの要請により休館していた期間においては、一部を市から支援をすることでリスク分担を図っている。

○市民のパワーにより生み出された地域での成功事例は、八尾市でも数多くあるはずであり、その成功事例を八尾市で集約し、他の地域に還元していくべきである。子ども達にとって安心して繋がる大人をどれだけ作れるかが、子どもを孤立させないまちになっていくポイントと考える。そのノウハウを共有することが重要である。

子どもの居場所の重要な場所として、学校図書館もその一つとして検討していただきたい。学校に朝から通えない子どもにとって安心な場所となりうる。

3 その他